

## 朝倉・広瀬の歴史

朝倉・広瀬の地は、利根川と広瀬川にはさまれた市南部の前橋台地にあります。この地の東を流れる広瀬川から桃ノ木川にかけての低地は、利根川のかつての流路で、朝倉・広瀬の歴史は、この旧利根川に大きく影響をうけながら展開されてきました。

この地が、歴史上大きな舞台となるのは、古墳時代になってからで、旧利根川河岸段丘に沿って造られた200基近い数の古墳がそれを物語っています。現在では、そのほとんどが姿を消してしまったが、残された古墳はいずれも古代の群馬の歴史を知る上で貴重なものとなっています。なかでも4世紀中ごろ東日本最大の前方後方墳八幡山古墳が出現し、それに続いて東日本最古期の前方後方墳天神山古墳がつくられ、ともに130mほどの規模を誇っています。天神山古墳粘土櫛からは王墓にふさわしい多くの副葬品が出土しています。さらに、古墳時代初期の集落も両古墳の周辺で発見されており、有力な豪族の支配の下で急速に発展する様子がうかがえます。その後も(天川)二子山古墳や金冠塚古墳などを中心に6世紀から7世紀にかけて旧上川渓地区で120基以上の古墳がつくられました。

律令制の時代には、上野国府に近いこの地は那波郡として七郷があり、「朝倉」などの地名はその名残りです。広い前橋台地には条里制がしきれ、ごばんの目のような区画の水田が作られました。古代の道東山道や中世のあづま道は、この地域を通っていたようです。

## 問い合わせ先 文化財保護課

前橋市三俣町二丁目10-2

TEL 027-231-9875

FAX 027-231-9862

# 朝倉・広瀬の文化財めぐり



前橋市教育委員会

文化財保護シンボルマーク



⑨ 山王の宝塔

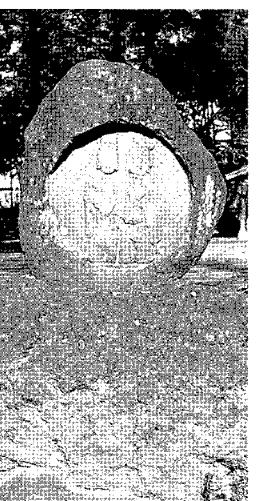


⑪ 阿弥陀三尊画像板碑

昭和五十年十二月二十四日指定



⑯ 供養塔と道しるべ



⑭ 双体道祖神  
(飯玉神社)



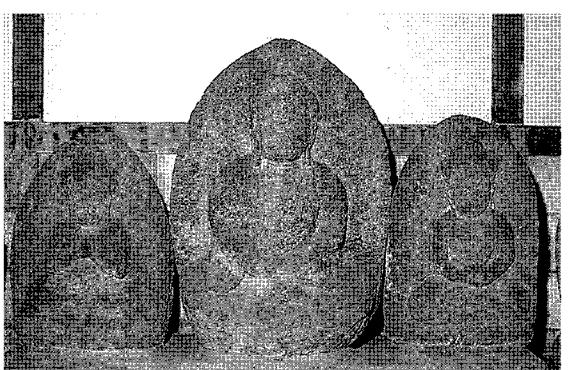
④ 金冠塚古墳



⑥ 亀塚山古墳



⑦ 経塚古墳

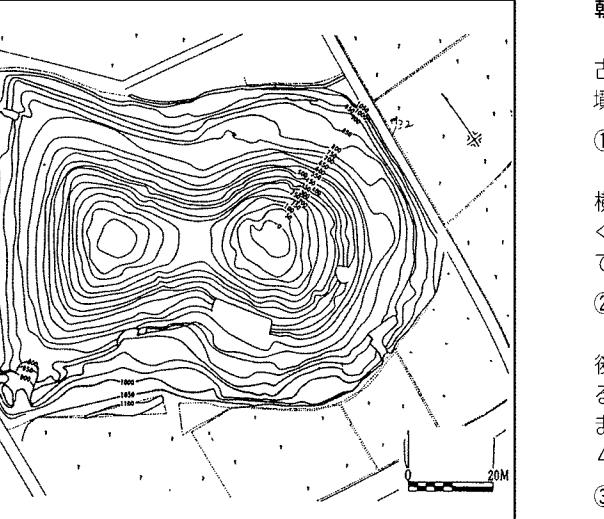


⑮ 享保十五年天川町絵図 (市重文) \*

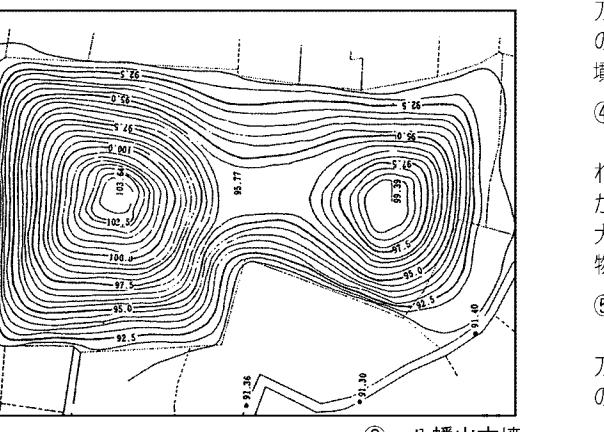
小大栗生小森  
尺山沢原形山林

奉

⑰ 下長磯あやつり式三番叟



① (天川) 二子山古墳



② 八幡山古墳

## 朝倉・広瀬の文化財をたずねて

利根川と広瀬川にはさまれた朝倉・広瀬地区は、かつて200基近い古墳が造られ、県内屈指の古墳群を形成していました。こうした古墳を中心として、朝倉・広瀬地区には次のような文化財があります。

### ① (天川) 二子山古墳 (国史跡) 文京町三丁目26

全長104m、後円部径72mの前方後円墳で墳丘は二段に築かれ、横穴式石室と考えられています。表面には、葺石があり、周堀がめぐらされていた様子もうかがえます。6世紀後半の築造と推定されています。

### ② 八幡山古墳 (国史跡) 朝倉町四丁目9-3

この古墳は、全国的に数少ない四角形に台形を接合した形の前方後方墳です。全国的に最大級の全長130mの規模で、周堀を含めると範囲は南北180m、東西125mに及びます。竪穴式石室と見られますですが、内部は調査されていないので詳しいことはわかりません。

### ④ 金冠塚古墳 (市史跡) 朝倉町一丁目27-7

現在後円部の中心部分だけを残すこの古墳は、もともと全長129mの大前方後円墳でした。後円部の粘土櫛から銅鏡、銅鏡、劍、大刀、斧、玉など15種165点の副葬品が発見されました。出土品は国の重要文化財に指定されています。調査結果から東国で最も古い古墳のグループの1つと考えられ、4世紀中頃の築造と推定されています。

### ⑤ 不二山古墳 (市史跡) 文京町三丁目2-3先

全長52m、後円部径約32mの前方後円墳で、墳丘は二段に築かれています。石室から出土した金冠製冠は新羅(韓國慶州)の古墳から出土した冠に類似しており、6世紀後半には、すでにこの地に大陸文化が深く浸透していたことがうかがえます。冠は東京国立博物館に収蔵されています。

### ⑥ 円満寺薬師如来坐像 (市重文) \*

円満寺の本尊になっている仏像で桧材を用いた寄木造りの坐像です。右手は掌を起こした施無畏印を結び、左手には小型の薬壺を持っています。鎌倉時代の作と見られています。

### ⑦ 駒形牛頭天王造阿弥陀三尊坐像 (市重文) 後閑町365

円満寺の北東約100mの所にある薬師堂に安置されており、「お薬師さま」として信仰されている三尊坐像の石仏です。向かって右が観音菩薩像、左が勢至菩薩像と考えられ、中尊を阿弥陀如来とする阿弥陀三尊で、県内でも数少ない鎌倉後期の作と見られています。

### ⑧ 前橋藩刑場跡供養塔ならびに道しるべ (市重文) 天川大島町290-5

供養塔は、天保12年(1841)刑死者の靈をとむらうために建てられたもので、もとは現在地より100m程北にありました。

供養塔の西側に道しるべがあり、正面中央に「南無阿彌陀仏」左右に年月日、下に「右江戸みち・左あ徒満道」と記されています。

### ⑨ 文政四年天川原村分間絵図 (市重文) \*

文政4年(1821)のもので、たて115cm、横280cmの大きさで、600分の1の縮尺になっています。図には、あづま道、広瀬川、端気川、寺の境内地をはじめ、田畠は上、中、下、下下に色分けされ一筆ごとに面積、所有者が記されています。

### ⑩ 文政四年前橋町絵図 (市重文) \*

文政4年(1821)のもので、たて243cm、横495cmの大きさで、600分の1の縮尺になっています。図には、前橋町内の街路、溝川、寺社、家並等が色彩豊かに描かれており、住人名・宅地面積等も記されています。

### ⑪ 享保十五年天川町絵図 (市重文) \*

この絵図は、たて138cm、横63cmの大きさで、享保15年(1730)に、天川村名主から酒井氏の町奉行に提出されたものです。天川町の通りに沿った町並みが克明に描かれており、住人名・宅地面積等も記されています。

### ⑫ 春日神社太々神楽 (市無文) \*

県内の他の神楽には類のない「蚕の舞」をもつ神楽として貴重なものとなっています。毎年八十八夜の祭に奉納されています。

### ⑥ 亀塚山古墳 (市史跡) 山王町一丁目28-3

この古墳は、円墳に低く細長い方形をつけ加えた前方後円墳の中でも古形の帆立貝式古墳です。亀の形を思われる所以古から亀塚とよばれてきました。埴輪などから6世紀前半の築造と推定されています。

### ⑦ 経塚古墳 (市史跡) 東善町経塚乙737

旧利根川右岸、広瀬古墳群の最南端にある径25mの小円墳です。以前は付近に34基の古墳があったそうです。経塚とは、經典などを埋め、盛土をし、祀ったのですが、地元での古くからの呼び名でつけられた名称とみられます。

### ⑧ 文珠山・阿弥陀山古墳 (市史跡) 山王町77、81

山王町一丁目の信号をすぎると左手に円墳が二つ見えます。手前の円墳が阿弥陀山古墳で奥の大きな方が文珠山古墳です。ともに広瀬古墳群の名残りを示す古墳で、周辺の古墳と連なる6~7世紀の群集墳の中心となる古墳です。

### ⑨ 山王の宝塔 (市重文) 山王町98-2

この宝塔は総高272cmと市内の多宝塔の中でも最大級のものです。安山岩製で相輪上部が欠けていますが、基礎、塔身、笠ともしっかりした全体に形の整った宝塔です。銘文、刻字は見られませんが、塔身の形式から室町時代初期のものと推定されています。

### ⑩ 廃覚動寺宝塔 (市重文) 乗明院 公田町544-1

総高219cmで基台には「永和四年(1378)成月三月二十一日」と造立年月日及び主旨等が刻まれています。形、銘文は内容、梵字などから、多宝塔と宝鏡印塔の中間的なものと見られています。

### ⑪ 阿弥陀三尊画像板碑 (市重文) 乗明院 公田町544-1

この板碑は寺南東隅の覆屋の中に納められています。総高167cmの緑泥片岩の板石に、阿弥陀三尊の画像が刻まれています。文字や梵字が刻まれることの多い板碑の中で、仏画が刻まれているという点で貴重なものとなっています。

### ⑫ 亀里町阿内宿の石幢 (市重文) 亀里町1203-2阿内宿公民館内

この石幢は、安山岩製の完全なもので、明応7年(1498)の銘があります。銘文から生前供養(逆修)のために建てたことわり、戦国時代に、来世は極楽へと祈る人々の願いを表した石造物です。

### ㉑ 春日神社のケヤキ (市天記) 春日神社 上佐鳥町374

春日神社神殿のすぐ東側にあります。推定樹齢300~400年。樹高30mでほうき状に枝が繁り、樹形、樹勢とも大変良好で、本市にとって貴重な巨樹であるといえます。

### ㉒ 駒形牛頭天王造阿弥陀三尊坐像 (有民文) \*

駒形神社収蔵庫に安置されている獅子頭は、桧製で加賀前田家のものをゆずり受けたといわれています。6月14日が牛頭天王の祭例日で、獅子頭を何度も菲川に流すという勇壮な祭りが1812年から明治末年まで100年間ほど続けられました。

### ㉓ 下長磯あやつり式三番附人形 3個 (県無民文) \*

人形によって演じられる三番叟は全国でも珍しく、毎年4月15日、下長磯町の稻荷神社拝殿で奉納されます。式三番叟は二人遣いの人形によって演じられます。しめを張ったひつに人形を入れ、おねりをすることや式三番叟を舞つたあと面着くぐりなどの行事は神事芸能としての特色を表しています。

昭和45年に国の選択無形民俗文化財として指定を受けています。

### ㉔ 環濠屋敷 上川淵、下川淵

外敵から住居を守るために土塁を築き、堀をめぐらした屋敷を環濠屋敷とよんでいます。普通は1辺100mの方形をしており、門や木戸を一、二ヶ所ぞなえています。善光寺の南、極楽寺、乗明院等に名残りが見られます。

### ㉕ 双体道祖神

道祖神は、行路の安全を守る道の神として、また村中に災害をもたらす邪霊の侵入を村境で防ぐ塞の神として古くから信仰されてきました。信仰は古くからましたが、石造道祖神のほとんどは江戸時代に造られたものとなっています。

この地区では、広瀬町の飯玉神社、鶴光路町善光寺・極楽寺境内、駒形神社、宮地町赤城明神などで双体道祖神が見られます。

重文……重要文化財 有民文…重要有形民俗文化財  
無文…重要無形文化財 無民文…重要無形民俗文化財  
天記……天然記念物

\*については、まだ公開されていません。

# 朝倉・広瀬の文化財を訪ねて

○	円	墳
△	寺	院
□	神	社
△	城	跡
○	石	造
合	建	物
口	歴	史
⋮	資	料
⋮	そ	の
⋮	そ	他
▽	文	化
⋮	財	めぐり
▽	めぐり	コース
▽	めぐり	案内板
▼	めぐり	道しるべ

裸みこし  
(7月14日前後の土曜日)

記号

伝えよう 昔の人の知恵と技

東小4年 石内 啓勝

受け継ごう 古代人とのきずな 文化財

東小6年 有阪 忠晃

伝統を 守る心と 知る気持ち

芳賀小6年 狩野 紗也佳

## 文化財めぐりコース

### 古墳めぐりコース (7.9km)

天川二子山古墳 —— 八幡山古墳 —— 天神山古墳 —— 飯玉神社  
(案内板) 1.5km 0.3km 0.5km (古墳と道祖神)  
0.8km 1km  
供養塔 —— 山王の宝塔 —— 文珠山 古墳 —— 金冠塚古墳 —— 亀塚山古墳  
道しるべ 3.0km 0.1km 0.3km 0.4km

### 石造物めぐりコース (11.1km)

寿延寺 3km 乘明院 1.3km 極楽寺  
(双体道祖神) (板碑、宝塔、環濠・山門) (双体道祖神・環濠) 0.6km  
3km  
円満寺 1.6km (双体道祖神) 下川淵公民館 1.5km 善光寺  
(石仏) (案内板) 0.1km (双体道祖神・環濠)

⑮前橋藩刑場跡供養塔  
ならびに道しるべ

②八幡山古墳

③前橋天神山古墳

④(飯玉神社)

⑭双体道祖神・飯玉神社太々神樂

(1月1日、4月第1日曜)

⑭円満寺

石造阿弥陀三尊坐像

⑮(円満寺)

⑯円満寺薬師如来坐像

⑦亀塚山古墳

⑧金冠塚古墳

⑨山王の宝塔

⑩文珠山古墳

○阿弥陀山古墳

⑪(日枝神社)

日枝神社獅子舞

(1月成人の日、7月第4日曜日、8月第1日曜日)

⑭双体道祖神

⑮(駒形神社)

⑯駒形牛頭天王

獅子頭一対

駒形神社太々神樂

(4月中旬、10月中旬)

1:22,000

0 200m

1000

2000m

力丸城跡

N